

第3学年

令和元年度

シラバス

赤門鍼灸柔整専門学校

鍼灸科第二部

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸科第二部3年
科目名	東洋医学応用概論	曜日・時間	土曜日・1時限

【授業概要・目標】
はり師・きゅう師に必要な知識を学ぶ。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	オリエンテーション	1	前期授業内容の復習
2	はりきゅうの概論と歴史	2	前期授業内容の復習
3	はりきゅうの歴史と社会的背景	3	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(2)
4	はりきゅうを取り巻く環境	4	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(3)
5	社会保険制度下のあはき治療	5	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(4)
6	地域におけるはりきゅう治療(1)	6	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(5)
7	地域におけるはりきゅう治療(2)	7	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(6)
8	高齢化社会におけるはりきゅう師の役割	8	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(7)
9	少子化社会におけるはりきゅう師の役割	9	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(8)
10	女性の健康管理におけるはりきゅう師の役割	10	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(9)
11	ストレス社会におけるはりきゅう師の役割	11	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(10)
12	はりきゅう師の衛生管理について	12	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(11)
13	はりきゅう師の関係法規について	13	はりきゅう師に必要な基礎知識の復習(12)
14	前期授業内容のまとめ	14	後期総まとめ
◆	前期試験(試験監督は教職員・専任教員)		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	小テストの平均点(50%) + 定期試験(50%) で評価。
授業の進め方	
注意(学生に望むこと)	はりきゅう師の現状を学習し、これからのはりきゅう師はどうあるべきかを自ら考えながら学習してください。
使用テキスト・参考書	社会はりきゅう学(参考書)

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸科第二部3年-
科目名	東洋医学臨床論Ⅲ	曜日・時間	土曜日・2時限

【授業概要・目標】
スポーツ東洋療法に関する専門的知識と技術向上を目的とする。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	オリエンテーション	1	競技種目別に発生しやすい障害と対処法-1 サッカー
2	テーピング実技	2	競技種目別に発生しやすい障害と対処法-1 サッカー
3	スポーツ東洋療法-1 総論	3	競技種目別に発生しやすい障害と対処法-3 陸上、水泳
4	スポーツ東洋療法-2 実際	4	競技種目別に発生しやすい障害と対処法-4 ゴルフ、ヨット
5	スポーツ東洋療法-3 現状	5	競技種目別に発生しやすい障害と対処法-5 テニス、スキー
6	スポーツ東洋療法-4 鑑別診断	6	競技種目別に発生しやすい障害と対処法-6 柔道、レスリング
7	各論-1	7	競技種目別に発生しやすい障害と対処法-7 剣道、野球、ラグビー
8	各論-2 競技場で遭遇しやすい疾患	8	コンディショニング
9	各論-3 整形外科疾患 頸部損傷、コンパートメント症候群	9	疲労回復
10	各論-4 内科疾患 かぜ、アトピー性皮膚炎	10	スポーツ(運動)生理学
11	各論-5 内科疾患 かぜ、アトピー性皮膚炎	11	トレーニング、アスレチックリハビリテーション
12	各論-6 身体各部位に発生しやすい障害と治療	12	スポーツと栄養、熱中症
13	各論-7 身体各部位に発生しやすい障害と治療	13	ボランティア活動について
14	前期総括	14	後期総括
◆	前期試験(試験監督は教職員・専任教員)		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	前期、後期筆記試験、実技試験、小テスト(実力試験)、授業態度、日常態度全てにかんがみて判断する。
授業の進め方	テキスト、参考図書の充実とその利用拡大により視野を広げる。
注意(学生に望むこと)	日常における予習復習の励行。授業に関係なしにどん欲に様々な医療知識を吸収しようという姿勢を期待する。
使用テキスト・参考書	スポーツ東洋療法ハンドブック、その他資料配布、その補k2冊ほど増加予定

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸科第二部3年
科目名	鍼灸理論	曜日・時間	土曜日・3時限

【授業概要・目標】

①1年次に学習した鍼灸の基礎知識・リスク管理について復習をし、より理解を深める。②「鍼灸がなぜ効くのか？」を鍼灸の一般治効理論や関連学説を通して理解する。そして、患者さんに説明できるようになることを目標とする。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	オリエンテーション	1	第1章 概論
2	第9章 鍼灸治効の基礎	2	第1章 概論
3	第9章 鍼灸治効の基礎	3	第3章 刺鍼の方法と術式
4	第9章 鍼灸治効の基礎	4	第4章 特殊鍼法
5	第9章 鍼灸治効の基礎	5	第5章 灸の基礎知識
6	第10章 鍼灸療法の一般治効理論	6	第6章 灸術の種類
7	第10章 鍼灸療法の一般治効理論	7	第7章 鍼灸の臨床応用
8	第10章 鍼灸療法の一般治効理論	8	第8章 リスク管理
9	第10章 鍼灸療法の一般治効理論	9	鍼灸理論 国試演習①
10	第10章 鍼灸療法の一般治効理論	10	鍼灸理論 国試演習②
11	第11章 関連学説	11	鍼灸理論 国試演習③
12	第11章 関連学説	12	鍼灸理論 国試演習④
13	第11章 関連学説	13	鍼灸理論 国試演習⑤
14	前期まとめ	14	後期まとめ
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	前期：筆記試験による、後期：筆記試験による。その他：出席状況、授業態度なども考慮する
授業の進め方	教科書に基づいてプリントで進めるが、学習状況により内容が前後したり、変更したりすることがある
注意（学生に望むこと）	鍼灸治効機序は、生理学が主体となっているため、生理学の復習を重ねて、基礎を身につけて下さい。
使用テキスト・参考書	『はりきゅう理論』『はりきゅう実技<基礎編>』（東洋療法学校協会編）生理学 第3版』（東洋療法学校協会編）

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸科第二部3年
科目名	鍼灸臨床実技Ⅲ	曜日・時間	金曜日・1時限

【授業概要・目標】
 鍼灸の臨床に必要な運動器系の傷病と鑑別法を習得する。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	オリエンテーション・身体診察・計測	1	鑑別診断-1
2	頭痛	2	鑑別診断-1
3	頸上肢痛-1	3	鑑別診断-3
4	頸上肢痛-2	4	鑑別診断-4
5	頸上肢痛-3	5	鑑別診断-5
6	頸上肢痛-4	6	鑑別診断-6
7	腰部痛-1	7	鑑別診断-7
8	腰・下肢痛-1	8	鑑別診断-8
9	腰・下肢痛-2	9	症例検討-1
10	膝部-1	10	症例検討-2
11	膝部-2	11	症例検討-3
12	鑑別診断	12	症例検討-4
13	実技試験	13	実技試験-1
14	実技試験	14	実技試験-1
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	後期試験（試験監督は教職員・専任教員）
授業の進め方	口答・実技・筆記試験、出席、授業態度（習熟度）、レポート提出の総合評価とする。
注意（学生に望むこと）	運動器系の構造と機能を復習しながら、病態、鑑別診断（検査法）を確認する。
使用テキスト・参考書	授業に必要な部位や傷病のノートを作成する。運動器系の構造、機能を復習する。

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸科第二部3年
科目名	鍼灸臨床実技Ⅱ	曜日・時間	金曜日・2時限

【授業概要・目標】
実技を中心とした授業。2年での応用力を活かした臨床的な実技ができるようにする。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	実技を中心とした授業。2年での応用力を活かした臨床的な実技ができるようにする。	1	臨床的な刺鍼（腰痛）西洋
2	実技を中心とした授業。2年での応用力を活かした臨床的な実技ができるようにする。	2	臨床的な刺鍼（腰痛）西洋
3	実技を中心とした授業。2年での応用力を活かした臨床的な実技ができるようにする。	3	臨床的な刺鍼（頸上肢痛）西洋
4	実技を中心とした授業。2年での応用力を活かした臨床的な実技ができるようにする。	4	臨床的な刺鍼（頸上肢痛）東洋
5	実技を中心とした授業。2年での応用力を活かした臨床的な実技ができるようにする。	5	臨床的な刺鍼（上肢痛）西洋
6	実技を中心とした授業。2年での応用力を活かした臨床的な実技ができるようにする。	6	臨床的な刺鍼（上肢痛）東洋
7	実技を中心とした授業。2年での応用力を活かした臨床的な実技ができるようにする。	7	臨床的な刺鍼（肩こり）西洋
8	実技を中心とした授業。2年での応用力を活かした臨床的な実技ができるようにする。	8	臨床的な刺鍼（肩こり）東洋
9	実技を中心とした授業。2年での応用力を活かした臨床的な実技ができるようにする。	9	臨床的な刺鍼（膝痛）西洋
10	実技を中心とした授業。2年での応用力を活かした臨床的な実技ができるようにする。	10	臨床的な刺鍼（膝痛）東洋
11	実技を中心とした授業。2年での応用力を活かした臨床的な実技ができるようにする。	11	臨床的な刺鍼（その他）
12	実技を中心とした授業。2年での応用力を活かした臨床的な実技ができるようにする。	12	総合練習-1
13	実技を中心とした授業。2年での応用力を活かした臨床的な実技ができるようにする。	13	総合練習-2
14	実技を中心とした授業。2年での応用力を活かした臨床的な実技ができるようにする。	14	前期実技試験

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検実技を中心とした授業。2年での応用力を活かした臨床的な実技ができるようにする。	15	
評価の方法	実技の流れ、(基本と臨床的な応用の状態)、平常点		
授業の進め方	互いに取り穴、刺鍼。患者役が術者に出題、術者がそれに沿う手技を行う		
注意（学生に望むこと）	特に手指、患部消毒を厳密に行う。相手を本当の患者と思い施術する		
使用テキスト・参考書	経絡経穴概論、東洋医学概論、鍼灸基礎実技、はりきゅう理論		

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸科第二部3年 -
科目名	臨床医学各論Ⅱ	曜日・時間	月曜日・2時限

【授業概要・目標】

①疾患を理解し図解できるようになる、②国家試験に対応できるようになる

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	整形外科疾患①	1	リウマチ性疾患・膠原病①
2	整形外科疾患②	2	リウマチ性疾患・膠原病①
3	整形外科疾患③	3	その他の領域①
4	整形外科疾患④	4	その他の領域②
5	整形外科疾患⑤	5	その他の領域③
6	整形外科疾患⑥	6	その他の領域④
7	整形外科疾患⑦	7	その他の領域⑤
8	整形外科疾患⑧	8	その他の領域⑥
9	整形外科疾患⑨	9	臨床医学各論 国試演習①
10	神経疾患①	10	臨床医学各論 国試演習②
11	神経疾患②	11	臨床医学各論 国試演習③
12	神経疾患③	12	臨床医学各論 国試演習④
13	神経疾患④	13	臨床医学各論 国試演習⑤
14	前期まとめ	14	後期まとめ
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	前期：筆記試験による、後期：筆記試験による、その他：出席状況、授業態度なども考慮する
授業の進め方	教科書に基づいてプリントで進めるが、学習状況により内容が前後したり、変更したりすることがある
注意（学生に望むこと）	①復習は必ずすること、②課題は提出期限を守ること、③解剖学や生理学の学習内容を復習しておくこと。
使用テキスト・参考書	『臨床医学各論』（東洋療法学校協会編）

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸科第二部3年 -
科目名	リハビリテーション医学	曜日・時間	水曜日・2時限

【授業概要・目標】

リハビリテーションの概念を身につけ、障害をもった方への接し方を考える。また、各障害の理解を通して鍼灸治療効果の可能性を幅広く考察できるように導く。

＜前期＞		＜後期＞	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	オリエンテーション(リハビリと鍼灸治療)	1	脳卒中 1
2	リハ概要 1～2	2	脳卒中 1
3	リハ概要 3～5	3	脊髄損傷
4	医学リハの概要 1～2～3	4	切断リハ
5	障害の評価 1～2	5	小児リハ
6	障害の評価 3～4～5～6	6	骨・関節 1
7	障害の評価 7～8～9	7	骨・関節 2
8	医学的リハ 1～2	8	末梢神経麻痺
9	医学的リハ 3～4～5	9	リウマチ・パーキンソン
10	医学的リハ 6～7～8	10	呼吸器疾患
11	運動学基礎 1～2～3 8～9	11	心疾患・高齢者リハ
12	試験準備	12	試験準備
13	試験準備	13	試験準備
14	前期試験	14	前期試験
◆	前期試験(試験監督は教職員・専任教員)		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	知識と理解を文章で表現できるか？
授業の進め方	コーチングテクニックを用いて授業に望み、理解を深めるために障害体験をさせる。
注意(学生に望むこと)	自分で考え、発想し、決断し、修正できるように！！
使用テキスト・参考書	テキスト

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸科第二部3年
科目名	関係法規	曜日・時間	月曜日・1時限

【授業概要・目標】

関係法規は、保健医療福祉とあん摩マッサージ指圧、はり及びきゆうの理念を内容とする。保健医療福祉制度の中におけるあん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゆう師の位置付けや職業倫理について理解を深める。医療法、医師法等の医事法の体系の中での「あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律」、社会保障法、社会福祉関係法について学ぶ。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	関係法規序論(1) 関係法規とは、関係法規の内容、関係法規と医事法	1	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律(1) 法律の沿革、法制定の目的、指定試験(登録)機関の指定
2	関係法規序論(2) 法の概念、法の領域、法の存在形式	2	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律(1) 法律の沿革、法制定の目的、指定試験(登録)機関の指定
3	関係法規序論(3) 法秩序の構成原理、法の解釈	3	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律(3) 免許、免許の取得と取消、名簿、登録事務、学校・養成施設、試験
4	医療法(1) 医療法の概要、医療法の目的、医療提供の理念、医療関係者の責務	4	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律(4) 施術者の業務、守秘義務等
5	医療法(2) 医療提供施設の種類と定義、類似名称の使用制限	5	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律(5) 施術所に関する規制、広告の制限、免許取消と業務停止
6	医療法(3) 医療提供施設の要件、法定人員、構造設備の基準等	6	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律(6) 罰則、両罰規定
7	医療法(4) 医療提供施設の管理監督等、医業等の広告の制限	7	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律(7) 医業類似行為とその規制、医業類似行為に関する判例
8	医療法(5) 医療計画、医療法人、地域医療連携推進法人、医療審議会、地域保健法	8	その他の関係法規(1) - 予防衛生法規、薬事関係法規 - 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、予防接種法、医薬品医療機器等法、薬剤師法
9	医師法(1) 医師法の概要、資格法、臨床研修	9	その他の関係法規(2) - 保健衛生法規 - 健康増進法、母子保健法、母体保護法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律
10	医師法(2) 業務法、医業と医業類似行為	10	その他の関係法規(3) - 社会保障関係法規 - 健康保険法、高齢者の医療の確保に関する法律、介護保険法
11	医師法(3) 義務法、罰則、秘密保持義務	11	その他の関係法規(4) - 社会福祉関係法規 - 社会福祉法、生活保護法、

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

			老人福祉法, 児童福祉法
12	他の医療関係者に関する法律(1) 歯科医師法, 保健師助産師看護師法, 診療放射線技師法, 臨床検査技師等法	12	その他の関係法規(5) 障害者基本法, 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律
13	他の医療関係者に関する法律(2) 理学療法士及び作業療法士法, 視能訓練士法, 言語聴覚士法, 臨床工学技士法	13	その他の関係法規(6) 身体障害者福祉法, 知的障害者福祉法, 発達障害者支援法
14	他の医療関係者に関する法律(3) 義肢装具士法, 救急救命士法, 歯科衛生士法, 歯科技工士法, 柔道整復師法、医師と他の医療関係者の業務の関係, 名称独占と業務独占	14	個人情報保護法
◆	前期試験(試験監督は教職員・専任教員)		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	前期, 後期の筆記試験による評価。前期試験は, 記述問題と選択問題, 後期試験は, 国家試験に準じた選択問題とする。
授業の進め方	講義方式。医療六法の条文を読み理解する。
注意(学生に望むこと)	授業中の私語は厳禁とする。基本的なマナーを守ること。
使用テキスト・参考書	使用テキスト・参考書: 必要に応じて, レジュメを配布する。医療六法平成31年版(必携)前田和彦監修 関係法規 医歯薬出版

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸科第二部3年 -
科目名	東洋医学各論Ⅱ	曜日・時間	火曜日・1時限

【授業概要・目標】

施術者として必要な東洋医学の概念、診断法及び治療法等の基本的事項について教授し、施術を適切かつ効果的に行う能力と態度を修得させる。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	弁証①	1	まとめ⑦
2	弁証②	2	まとめ⑦
3	弁証③	3	まとめ⑨
4	論治①	4	まとめ⑩
5	論治②	5	練習問題Ⅰ
6	治法①	6	練習問題Ⅱ
7	治法②	7	練習問題Ⅲ
8	弁証論治の進め方と証の決定	8	練習問題Ⅳ
9	まとめ①	9	練習問題Ⅴ
10	まとめ②	10	練習問題Ⅵ
11	まとめ③	11	練習問題Ⅶ
12	まとめ④	12	練習問題Ⅷ
13	まとめ⑤	13	練習問題Ⅸ
14	まとめ⑥	14	練習問題Ⅹ
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	前期：筆記試験による、後期：筆記試験による、その他：出席状況、授業態度なども考慮する
授業の進め方	教科書に基づいて進めるが、学習状況により内容が前後したり、変更したりすることがある
注意（学生に望むこと）	1・2年時の学習内容がベースになるので復習しておくこと。
使用テキスト・参考書	東洋医学概論

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸科第二部3年 -
科目名	東洋医学臨床論 I	曜日・時間	木曜日・1時限

【授業概要・目標】
 患者の誘導から、実技（特殊鍼法も含めて）まで幅広く、学習・訓練してもらいます。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	患者への対応とベットサイドの対応を訓練する	1	実技の訓練
2	実技のオリエンテーション	2	実技の訓練
3	実技の訓練	3	実技の訓練
4	実技の訓練	4	実技の訓練と背診
5	実技の訓練と腹診	5	実技の訓練
6	実技の訓練	6	実技の訓練
7	実技の訓練	7	実技の訓練
8	実技の訓練と理学検査	8	澤田流
9	実技の訓練	9	平田氏十二反応帯
10	実技の訓練	10	運動鍼
11	実技の訓練	11	実技の訓練
12	実技の訓練	12	実技の訓練
13	実技試験	13	実技試験
14	実技試験	14	実技試験
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	出席・定期試験により評価する。
授業の進め方	11月に行われる認定試験の実技訓練を主に行う。
注意（学生に望むこと）	実技、特に灸について行う。
使用テキスト・参考書	なし

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸科第二部3年
科目名	東洋医学臨床論Ⅱ	曜日・時間	火曜日・2時限

【授業概要・目標】

1、東洋医学的な考え方に基づいた鍼灸療法の学習 2、適応・不適応疾患の鑑別

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	治療総論、頭痛	1	運動麻痺、高血圧、低血圧
2	顔面痛、顔面麻痺	2	運動麻痺、高血圧、低血圧
3	歯痛、眼精疲労	3	発熱、のぼせと冷え
4	鼻汁、鼻閉、脱毛	4	不眠、疲労と倦怠
5	めまい、耳鳴りと難聴	5	発疹、小児の症状
6	咳嗽、喘息	6	老年医学における鍼灸療法
7	胸痛、腹痛	7	練習問題①
8	悪心と嘔吐	8	練習問題②
9	便秘と下痢	9	練習問題③
10	月経異常	10	練習問題④
11	排尿障害、インポテンツ	11	練習問題⑤
12	肩こり、頸肩腕痛	12	練習問題⑥
13	肩関節痛、上肢痛	13	練習問題⑦
14	腰下肢痛、膝痛	14	練習問題⑧
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	評価は前期・後期試験の点数を基本とし、小テスト、平常点を加味して評価する。
授業の進め方	授業の進め方は、基本的に教科書通り（「現代医学的な考え方」を除く。）とする。
注意（学生に望むこと）	東洋医学は、馴染みのない理論、哲学のため、それを「信じる」「信じない」に関わらず、まずはその内容を理解するよう努めてほしい。
使用テキスト・参考書	東洋医学臨床論

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸科第二部3年-
科目名	鍼灸臨床実技 I	曜日・時間	水曜日・1時限

【授業概要・目標】

臨床に必要な運動器疾患の理学的初見と鑑別法、その疾患を学ぶ。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	総論（主訴、現病歴、カルテ、ROM）	1	前期復習
2	腰痛 - 1	2	前期復習
3	腰痛 - 2	3	症例と鑑別診断 - 2
4	坐骨神経痛 - 1	4	症例と鑑別診断 - 3
5	坐骨神経痛 - 2	5	症例と鑑別診断 - 4
6	膝関節痛 - 1	6	症例と鑑別診断 - 5
7	膝関節痛 - 2	7	中間実技試験
8	頸・上肢痛 - 1	8	検査と治療 - 1
9	頸・上肢痛 - 2	9	検査と治療 - 2
10	五十肩 - 1	10	検査と治療 - 3
11	五十肩 - 2	11	症例検討 - 1
12	その他の疾患と検査	12	症例検討 - 2
13	前期まとめ	13	症例検討 - 3
14	前期実技試験	14	後期実技試験
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	前期試験、中間試験、後期試験の成績による。
授業の進め方	教科書の内容に沿って進める。
注意（学生に望むこと）	構造とその動きをイメージできるようになること。漫然と行うのではなく意義や意味を理解すること。
使用テキスト・参考書	問診・診察ハンドブック、解剖学、配布資料

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名		学科・年	鍼灸科第二部3年
科目名	鍼灸臨床実技Ⅳ	曜日・時間	木曜日・2時限

【授業概要・目標】

各疾患の病態・適応・不適応，西洋医学的(所見の取り方・検査法)・東洋医学的(四診)な考え方を総合する学習をする。また、診断・治療・予防を習得する。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	肺経・大腸経の是動病と所生病	1	脳神経
2	上記：経穴取穴・四診	2	脳神経
3	胃経・脾経の是動病と所生病	3	血圧・反射の検査2
4	上記：経穴取穴・四診	4	頸上肢痛の病態把握・鑑別・診断・治療
5	心経・小腸経の是動病と所生病	5	頸上肢痛の病態把握・鑑別・診断・治療
6	上記：経穴取穴・四診	6	肩関節痛の病態把握・鑑別・診断・治療
7	膀胱経・腎経の是動病と所生病	7	肩関節痛の病態把握・鑑別・診断・治療
8	上記：経穴取穴・四診	8	腰下肢痛の病態把握・鑑別・診断・治療
9	心包経・三焦経の是動病と所生病	9	腰下肢痛の病態把握・鑑別・診断・治療
10	上記：経穴取穴・四診	10	膝痛の病態把握・鑑別・診断・治療
11	胆経・肝経の是動病と所生病	11	膝痛の病態把握・鑑別・診断・治療
12	上記：経穴取穴・四診	12	鑑別診断
13	実技試験	13	鑑別診断
14	奇経八脉の流注と病証	14	鑑別診断
◆	前期試験（試験監督は教職員・専任教員）		
15	評価点検評価点検	15	

評価の方法	症例報告2題、本試験、出欠(授業態度)など
授業の進め方	履修内容順に講義を進行する。ただし学生の能力に応じて変更有り。授業内で診断・手技の口頭質問あり。
注意（学生に望むこと）	総合的診断・技術能力を高めるために課題を提出。
使用テキスト・参考書	教科書（東洋医学概論・臨床総論・臨床各論・東洋医学臨床論経絡経穴概論・その他）、配付資料、

2019年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	専任教員	学科・年	鍼灸科二部3年
科目名	臨床実習	曜日・時間	—・—

【授業概要・目標】

①患者と適切なコミュニケーションがとれる。②施術準備（補助）ができる。③基本的な事項について診療録に記載ができる。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	臨床実習前授業（Ⅰ）	1	臨床実習（15）
2	臨床実習前授業（Ⅱ）	2	臨床実習（16）
3	臨床実習（1）	3	臨床実習（17）
4	臨床実習（2）	4	臨床実習（18）
5	臨床実習（3）	5	臨床実習（19）
6	臨床実習（4）	6	臨床実習（20）
7	臨床実習（5）	7	臨床実習（21）
8	臨床実習（6）	8	臨床実習（22）・振り返り
9	臨床実習（7）	9	
10	臨床実習（8）	10	
11	臨床実習（9）	11	
12	臨床実習（10）	12	
13	臨床実習（11）	13	
14	臨床実習（12）	14	
◆	臨床実習（13）	◆	
15	臨床実習（14）	15	

評価の方法	身だしなみ・参加意欲・実習生同士の協調性・患者接遇などを総合的に評価する。
授業の進め方	指導教員の施術見学、施術所の環境整備、施術準備（補助）などを中心に行う。
注意（学生に望むこと）	積極的に実習に参加してもらいたい。
使用テキスト・参考書	なし